

富士山をのぞむ人類の登場と縄文芸術

遺跡からそのまま剥ぎ取ってきた縄穴断面！
おどしあな

令和
4年
夏季企画展

2022
7/16
SAT

8/28
SUN

催告

7/24
日よう日

8/7
日よう日

静岡県埋蔵文化財センター職員による
ギャラリートークとワークショップも
開催しました！

テラコッタに縄文文様付け体験▶



▲押出シ遺跡出土水煙文土器 静岡県埋蔵文化財センター蔵



静岡県埋蔵文化財センター蔵水煙文土器

成人男性がスッポりおさまる!?
170cm



高見丘Ⅲ遺跡（後期旧石器時代）
静岡県埋蔵文化財センター蔵▶

くに 山の洲文化財交流展

今 年の夏季企画展は、静岡・長野・山梨3県の文化財の交流を目的とした山の洲（やまのくに）文化財交流展「富士山をのぞむ人類の登場と縄文芸術」を行いました。

山梨県会場となった当館では「交流」をテーマに、主に静岡県の旧石器・縄文時代の資料を展示しました。

今回の展示にあたって沼津市から出土した旧石器時代の水晶製石器について、原産地の科学的な分析を行いました。その結果、これらの石器が山梨県産である可能性が高いことが分かりました。山梨は宝飾業が盛んですが、3万年以上前から県外に水晶が運ばれていたことが明らかになったのです。



▲山梨県産水晶製石器
【上】土手上遺跡・【下】測ヶ沢遺跡
沼津市教育委員会蔵

単なる文化財の展示だけでなく、新たな知見が判明したことが大きな成果となりました。

交流展は来年度も実施予定のため、次はどんな発見があるか、楽しみにお待ちください。

山梨・長野からの影響をうかがえる静岡の水煙文土器がズラリ！